

# 7-1企画提案

## ●アプリケーション名

「ウェアリス (where+list)」

## ●開発理由・目的

どこに行こうかと話題になった時にいろんなアプリの保存リストから探す手間を省ければと思いました。

利用者が地元や日本の魅力を再発見し、共有する。地域やコミュニティの活性。

## ●背景

現在食べログやGoogle、Instagramなどで気になったところを個人で保存しlineなどで共有してると思います。

その手間の多さに不便を感じました。

身近で、通りがかって気になったご飯屋さんとか忘れないように共有できたら良いよねと声がありました。

また、自分も旅行やご飯をよく一緒に行く人への共有の際に「どこに保存したかなあ」「前行ったあそこ名前なんだっけ」など多々あり現在のメジャーなアプリだと機能が分散してるなと感じるところがありました。

## ●何ができるアプリケーションか

友人やカップルや身近な人(家族や同僚)をターゲットに、食べログのようなアプリの保存機能だけではなく、飲食店と旅行やデートと幅広く他者と共有できます。

行ったところリストと行きたいところリストで分けて、行ったところは「また行きたい」等の評価基準を設けて見返しやすく、思い出す手間や忘れてしまったなどがなくなる。

より身近な人の評価を確認でき視覚的にもわかりやすい。

また、距離で仕分けており遠中近で分けてリスト化をユーザー個人で設定でき、ニーズに合った選択をしやすい。

(例：旅行なら 全国→関東→県内、飲食店なら 県内→市内→最寄り)

差別化ポイントとしては、

Googleや食べログと大きく異なる点は、個人向けの利用や不特定多数への発信を目的としたサービスではなく、特定のグループ単位での共有を目的としている点です。

行きたいところリストには、Googleや食べログなどで調べた情報やURLを自由に貼ることができますが、他人向けのレビューではなく、このアプリでは自分やグループ向けに信頼できる評価や履歴をリスト化します。これにより、PRやサクラ、知名

度による偏りなどの影響を受けることはありません。

また、エリア分けを個人で自由に設定できるため、自分のライフスタイルや興味に合わせたリストを柔軟に作成することができます。さらに、飲食店に特化したサービスとは異なり、旅行先やデートスポット、地元の観光地など幅広いカテゴリに対応できます。

必要以上に情報を外部へ公開することなく、安心して写真や思い出を含めた情報を特定の人とシェアできる「プライベートな共有の場」として、身近な人とのつながりを深めることができます。

情報交換や議論を目的とした掲示板とは異なり、行きたい場所や体験をリスト化・評価し、それを共有することを目的としています。